

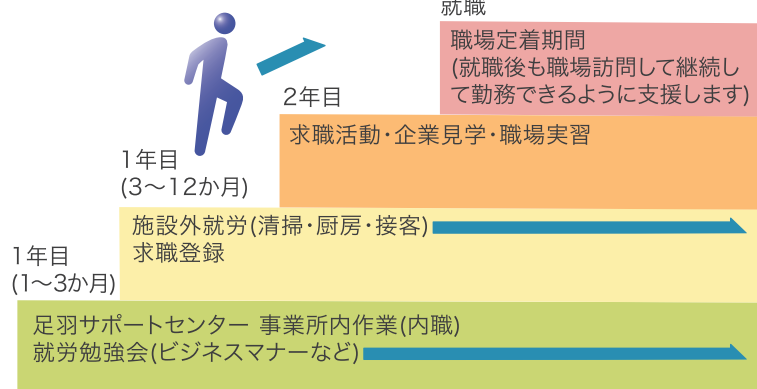
叶えたい 夢のために



就労移行支援事業とは？

2年間の有期限の中で、一般就労に向けて事業所内や企業における作業や実習、適性にあった職場探し、就労後の職場定着のための支援を行う事業です。働くために必要な知識や能力を身につける職業訓練も含まれます。

〈就労移行支援カリキュラム〉



「将来、就職して親に安心してもらいたいです」「就職したら結婚して自立した生活を送りたいです」
これらの夢は、現在、足羽サポートセンターの就労移行支援事業を利用して利用されている方の夢です。でも…「就職するためにはどうすればいいの?」「どんな種類の仕事があるの?」「私に向いている仕事は?」
夢はあるけど、どうしたらいいかわからない。みなさんの夢を叶えるために、私たち支援者が取り組むことは?
今回は、夢に向かって日々努力されている利用者の方と、そのサポートをしている支援者の取り組みをお伝えします。

就職したいけど…

足羽サポートセンターの就労移行支援事業を利用されている方は『将来、就職をしたい』という目標のもと、日々取り組んでいます。しかし、今までは段階を踏んだ取り組みは曖昧のまま進んでいることが多く、支援に見通しが立っていない部分が多くありました。

そこで平成27年4月から利用者の方に、今後の取り組むべき課題が理解しやすいようなカリキュラムを立てて進めることにしました。カリキュラムでは、一人ひとりの利用者の方の状況に合わせて、施設外就労や勉強会等の機会を設けて就職へ向けて一歩ずつ進めています。



たくさんの経験から学ぶこと

Aさんは、就労移行支援事業を利用して2年目になります。最初は事業所内の作業から取り組み始めました。「就職したい」という思いが強く、その頑張りをもっと伸ばすことができればと施設外就労へステップアップしました。施設外就労では、カリキュラムに沿って、3か月期間での経験や振り返りを行い、次の施設外就労先に進みます。

現在は、病院の清掃業務に日々取り組まれており、経験を通して、自分の得意不得意な部分を見つげながら奮闘する毎日です。憧れと思っていた「就職」への道は簡



各病室の洗面所を掃除中

利用者の方々の一言

将来の夢

- ・就職したい。
 - ・お母さんを楽にさせてあげたい。
 - ・動物園の飼育員になりたい。
- 頑張りしたいこと**
- ・いろいろな経験を積んで自分の力にしたい。
 - ・作業を一つずつ頑張る。
 - ・辛いと思うこともあるけど、将来のために毎日頑張りしたい。

仲間と共に

単なものではなく、実際の現場では厳しさもたくさんありました。なかなか手順を覚えることができないことや、所定の時間内に決められたことができないことなど、厳しい環境に戸惑い、涙を流されることも多々ありました。

しかし、実際の社会で学ぶ厳しさは、大きな自信につながることも多くあります。職員と共に涙を流して喜び合うことで、日々の厳しさは大きな成長への一歩となっています。

カリキュラムの特徴の一つとして、勉強会を行っています。就職するためのマナーやスキルを実践的に学び、振り返りも行いつつ、施設外就労で経験することと併せて学びの場として組んでいます。

また、相談の時間も大切にしており、利用者の方一人ひとりとこの面談を通して、困ったときやどうすればよいかわからないときに、悩みを一人で抱え込まないように相談方法も一緒に考えてお伝えしています。



勉強会では、意見を出しやすい雰囲気作りも大切にしています

カリキュラムを組むことで、今までよりも利用者の方に就職までの道のりを具体的に示すことができるようになってきました。

進み具合も併せて確認することで次の課題が明確になり、また、利用者の方自身にとっても得意な仕事、苦手な仕事って何だろう？と、就職に対するイメージもつきやすく選択肢も増えてきています。



最後に

平成27年4月から本格的な取り組みを始めて、試行錯誤の毎日です。日々の取り組みの中で、利用者の方が一歩ずつ成長していることが日々を通して実感できており、就職に向けて新しい支援体制の一步が踏み出せていると思います。

利用者の方がこのカリキュラムを行っていくことで就職への選択肢が増え、自分の将来をいろいろと考えられるきっかけができたらいと思います。利用者の方の夢や目標に向かって、仲間と共にこれからも取り組みを続けていきます。

足羽サポートセンター

就労支援員 水野 奈央



休憩のホットと息中～！会話も弾みます

